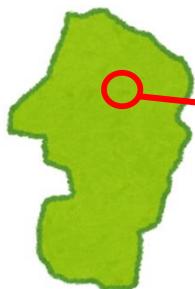


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成30年度:計画作成主体:大蔵村農業再生協議会)(山形県)

## 取組の概要

対象品目 : 水稻(産地面積37.1ha)  
 主な取組主体 : 烏川農事組合法人  
 成果目標 : 労働生産性の10%以上の向上  
 基準(H30年度) 5,644円/h  
 目標(R3年度) 6,211円/h  
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース:トラクター、コンバイン)



山形県  
大蔵村  
大蔵村全域

## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

農業者の高齢化と後継者不足が深刻な問題となるなかで、不作付地の解消、地区内での継続的な農業生産を行うため、基盤整備を機に地区の担い手が法人を設立し、農地を集約している。

このため、担い手法人の大規模経営に対応した高性能トラクター及びコンバインを導入し生産規模拡大を行う。また、農地中間管理事業の活用により、さらに農地の集約化に取り組み、担い手法人の経営規模の拡大を図りながら、地区における安定した農業経営の実現を図る。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①高性能トラクター及びコンバインの導入による生産規模の拡大を進める。
- ②高性能トラクターの導入により耕起整地作業の効率化を図る。
- ③高性能コンバインの導入により刈取脱穀作業の効率化を図る。
- ④農地中間管理事業を活用した農地集積により作業の効率化を図る。

## 産地体制

普及指導センター、村、地域農業再生協議会、農業協同組合が連携して事業を推進

・山形県最上総合支庁  
農業技術普及課  
・大蔵村  
・大蔵村農業再生協議会  
・JA山形もがみ  
(JAおいしいもがみ)

取組主体  
(烏川農事組合法人)

指導・助言

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

・農地中間管理事業を活用した農地集積による作業の効率化

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①トラクターの導入により耕起整地作業が効率化され労働生産性が向上
- ②コンバインの導入により作業が効率化され労働生産性が向上

### 【事業実施による間接効果】

- ①農地集積により作業の効率が向上



**労働生産性が  
19.8%向上  
(達成率196.6%)**

